

03 地域コミュニティ

5年後のめざす姿
市民の個性が生かせる
地域コミュニティができています。



※ 地域コミュニティとは、地域をより良くするために活動する住民同士のつながりや集まりのことをいいます。

地域コミュニティの課題は？
少子高齢化や生活スタイルの多様な地域を取り巻く環境が大きく変わっていく中、地域の活動をこれまでどおり続けていくことが困難になることが予想されます。持続可能なまちづくりに向け、新たな組織づくりが求められています。



SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。17のゴール・169のターゲットで構成されています。市でも「誰一人取り残さない」まちづくりを進めています。

各まちづくり協議会準備組織の取り組みの例

▶まちづくり協議会準備組織とは、まちづくり協議会への移行準備をしている組織のことです。

各地区では、さまざまな課題がありますが、まちづくり協議会準備組織で意見交換などを行い、解決に向けて取り組んでいる地区の事例を紹介します。

● 深谷地区の「高齢者の買い物送迎事業」

現在、深谷地区は市内で一番高齢化が進んでいます。またコンビニやスーパー、病院などが無いため、さまざまな交通手段を使って市内の中心部まで赴いています。

昨年4月、深谷地区では生活に関するアンケートを実施し「あなたやご家族にとって現在やこれからの暮らしの中でどのような困りごとがありますか？」の問いに一番多かった回答が「買い物などの外出」でした。



深谷まちづくり協議会準備組織で解決策を考えました。



高齢者の生活状況を改善するため「買い物」が不便な高齢者を対象に、買い物場所まで車で送迎する事業を試験的に行いました。「気軽に買い物に行けるようになって嬉しい」との声が上がっています。

● 星見ヶ丘地区の「ウェブサイト構築」

星見ヶ丘地区では「回覧板をまわす作業が大変、発信した情報が見られているのかわからない」など情報の共有に課題を感じていました。

・地域の情報をいち早く知りたいな…
・スマホで地域の情報を見ることはできないのかな…



星見ヶ丘まちづくり協議会準備組織で解決策を考えました。



星見ヶ丘地区専用のウェブサイトを構築し、地域に必要な情報を紙だけでなくウェブでも見れるようにしました。今後は、ウェブを使って回覧を行ったり、オンライン会議など活用の幅を広げていく予定です。

● その他各地区のトライアル事業



城東地区
気軽に集うことができるよう、地域で新たな場をつくりました。



桑部地区
地域の防犯力を高めるため、防犯パトロール活動を行っています。



久米地区
久米まちづくり拠点施設で開催された「大正琴の演奏会」。



野田地区
野田地区住民アンケートの説明会に併せて講演会を開催しました。



松ノ木地区
防災減災ポスター標語コンクール表彰会を行った後、訓練の体験を行いました。



城南地区
地域の小学生と協力して「城南かるた」を作成し、かるた大会を行いました。



伊曾島地区
地域住民が講師となり、子どもたちに伊勢湾台風の体験を語り伝えています。



長島北部地区
地域のみみなでつながろうプロジェクトの「稲刈り事業」。



長島中部地区
長島中部地区で開催された「敬老まつり」。地域の皆さんと交流を深めました。

全地区が準備組織の立ち上げに向け、動いています！

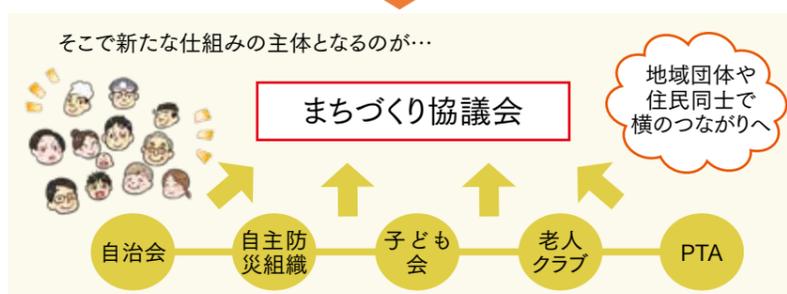


■ 地域を取り巻く環境の変化

人口減少・少子高齢化 地域への関心の希薄化 生活スタイルの多様化



地域のことは「地域が決める・地域で取り組む」新しい仕組みが必要



まちづくり協議会とは？

それぞれの地域で生活する人が将来の「まち」のイメージを共有し、個々で活動するのではなく、その実現に向けて地域団体（自治会、自主防災組織、子ども会など）や住民が連携、協力して取り組む新しい地域の運営組織です。地域団体や住民などみんなで話し合って方針を決め、地域で抱えている課題の解決に向けて一緒に取り組みます。

地域コミュニティ

地域と行政が連携して
まちづくりを進めます。

●市民自治の推進および
地域運営組織の形成



5年後のめざす姿



- 各所が協働・特性を生かして地域社会をつくる
- 地域行事や社会活動に自ら参加し、自分の力を最大限に発揮
- 世代を越えた助け合いで地域課題に取り組む

市が取り組みます！



子どもの遊び場を設けた桑部まちづくり拠点施設



開放的な空間に整備した久米まちづくり拠点施設

- 拠点施設を地域活動・交流場所として利用できるにします。
- 地域の課題を解決するため、新しい地域コミュニティ体制づくりを支援します。

指標

住民主役のまちづくり推進

認定まちづくり協議会の設立数 **5年後増加へ**

令和2年度実績 **0** 組織

(令和2年度 まちづくり協議会準備組織の設立数 18 組織)

市民が取り組みます！



まちづくり協議会設立に向け、準備を進めています



地域のめざす姿について意見交換を行っています

- 世代を超えてお互いに助け合い、地域の課題に対して取り組みます。
- 自分の個性を生かしながら地域の行事や社会活動に積極的に参加して、地域コミュニティをつくっていきます。



①久米まちづくり拠点施設で定期的に行われている人気なカラオケ。②城南まちづくり拠点施設で行われている卓球珈琲。卓球とコーヒーが楽しめます。

Q まちづくり拠点施設では、どのような活動が行われているのでしょうか？

A まちづくり拠点施設は、これまで社会教育の場であった公民館の機能を維持しながらも「地域のまちづくり」のための施設に機能転換を行いました。実際に拠点施設では、まちづくり協議会の準備組織によってさまざまな取り組みが行われています。特に旧地区市民センターが併設されていた拠点施設では、オープンスペースの活用を地域の人のアイデアによって実施するなど、気軽に集える場づくりが進んでいます。

(地域コミュニティ課)

市民編集員の
「これも聞きたい」

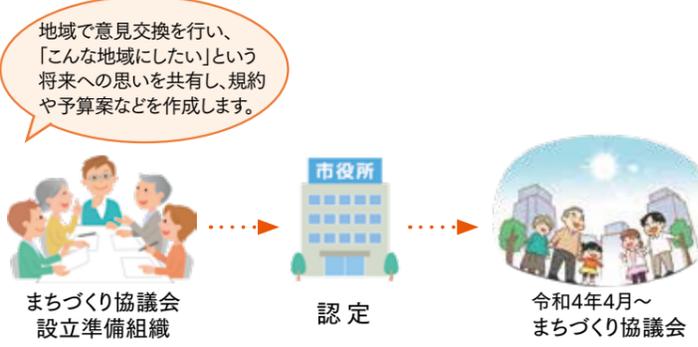


佐藤さん (70代)

現在

まちづくり協議会移行への取り組み

各地区では「まちづくり協議会準備組織」として、さまざまな活動に取り組んでいただいています。令和4年4月から「まちづくり協議会」として活動が行えるよう、この4月にまちづくり協議会条例・同条例施行規則を施行しました。

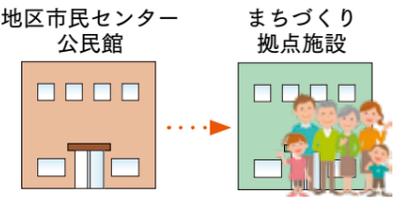


地域で意見交換を行い、「こんな地域にしたい」という将来への思いを共有し、規約や予算案などを作成します。

過去

行政・施設機能の見直し

地区市民センター（桑部・在良・七和・深谷・久米・城南・伊曾島）や公民館のあり方を見直し、行政施設・社会教育施設から地域のまちづくり拠点施設へと機能転換を図ったことで、地域の人たちが自由に拠点施設を使うことができ、幅広い活動が可能になりました。



この記事に関するお問い合わせは、秘書広報課へ（☎ 24-1492 FAX 24-1119）



城南地区で行われたラジオ体操リレーに参加しました。

「地区市民センター」を「まちづくり拠点施設」へと機能転換しました。地域の人たちが自由に使えるようになり、幅広い活動が可能になりました。

10年後、20年後も自分たちが住んでいる地域が住みやすいところになるよう、市では自治会をはじめさまざまな団体と連携し、新しい地域コミュニティの体制づくりを支援してまいります。

市長とみんなの
ネクストビジョン
No.3 地域コミュニティ



藤が丘地区の樹木剪定作業

路樹剪定スケジュールでは、どうしても紅葉シーズン前に剪定されてしまいます。そこで、街路樹の紅葉を楽しめる地域を取り戻そうと、行政から事業を受託する形で、活動が始まりました。とても素晴らしい取り組みであると思います。

市では、地域コミュニティの担い手である、住民、企業、行政などが一体となって地域課題を解決し、地域に暮らす人たちの思いを生かした地域づくりが進められるよう、平成30年4月に「公民館」や「地区市民センター」を「まちづくり拠点施設」へと機能転換しました。地域の人たちが自由に使えるようになり、幅広い活動が可能になりました。

特集「桑名市総合計画をひもとく」の第3弾は「地域コミュニティ」です。地域コミュニティとは、自分たちが住んでいる地域のことで、住民の力で自主的に住みよい地域を育てていけば、素晴らしい地域になると思っています。



まちづくり協議会設立準備組織

認定

令和4年4月～まちづくり協議会